

プレスリリース
2026年3月18日

オーストラリア クイーンズランド州政府、 ミズノ株式会社、一般財団法人未来医療推進機構、JA NETWORKが スポーツおよび健康分野のイノベーションの促進に向け連携強化

一般財団法人未来医療推進機構（以下「Nakanoshima Qross」、理事長：澤 芳樹）は、オーストラリア・クイーンズランド州政府、ミズノ株式会社（以下「ミズノ」）、および JA Network と共に、スポーツおよび健康分野におけるイノベーションの促進を目的とした「日豪スポーツ×ヘルス・イノベーション・エキスチエンジ（JASHIE：Japan Australia Sports & Health Innovation Exchange）」の推進に向けた連携強化として、2026年3月18日に連携強化に関する覚書（MOU）を締結いたしました。

〔問い合わせ先〕 一般財団法人未来医療推進機構 広報部
TEL：06-6690-8973/メール：pr@miraikiko.jp



1. MOU について

本MOUでは、2年間のパートナーシップの一環として、クイーンズランド州と日本のスポーツと健康に関するイノベーションを促進するための連携を強化し、スタートアップ企業の育成、技術移転、投資パートナーシップを支援することを目標に掲げています。

特に重点項目となっているのがスポーツ競技、健康、スポーツ・ビジネスの分野であり、これにはハイパフォーマンス・スポーツ、競技スポーツおよびトレーニング、スポーツ参加とアクティブなライフスタイルの促進、睡眠科学、メンタル・ヘルスとウェルビーイング、そして主要イベントやスタジアム、ファン・エンゲージメントで使用されるテクノロジーなどの分野が含まれます。

このパートナーシップでは、両国での新たな機会を探している投資家、主要なスポーツ・健康団体、政府機関、そして研究パートナーとの関係を築く機会を得られます。

2. Nakanoshima Qross の目的と本覚書の狙い

Nakanoshima Qross は、未来医療の産業化を牽引するグローバル・イノベーション・ハブとして、2032 年ブリスベン・オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた日豪両国のエコシステム接続を目指しています。本パートナーシップを通じて、**Nakanoshima Qross** は以下の達成を支援します：

- **二国間連携の深化**：クイーンズランド州と日本のスポーツ・健康に関するイノベーション促進に向けた協力関係の深化。
- **エコシステムの接続**：両国のイノベーション・エコシステムを「つなぎ（Connect）」、「成長させ（Grow）」、「持続させる（Sustain）」こと。
- **産業支援の拡大**：スタートアップ企業の育成、技術移転、および投資パートナーシップの推進。

3. **Nakanoshima Qross** が注力する役割と重点分野

Nakanoshima Qross は、本連携においてスタートアップ支援、共同研究、医療・ヘルスケア技術の実用化（社会実装）を主導し、双方のエコシステムを繋ぐ重要な役割を果たします。

4. 今後の展開

Nakanoshima Qross は、本 MOU に基づき、2 年間のパートナーシップ期間を通じてクイーンズランド州での JASHIE プログラムの実施検討や、研究・産業機会の創出に取り組んでまいります。これにより、日本発の技術力と豪州のスポーツ文化を融合させ、世界の健康課題解決に貢献します。

関係者コメント

■ クイーンズランド州スポーツ・競馬産業・オリンピック・パラリンピック大臣

ティモシー・マンダー州議会議員

「クイーンズランド州政府は、すべての州民にとって有益な大会を実現すべく取り組んでいます。クイーンズランド州は JASHIE のようなイニシアティブを通じて日本とのグローバル・パートナーシップを構築し、イノベーションの促進とスポーツ・健康産業の強化を図り、将来の世代にわたり恩恵がもたらされるようにします。」

■ クイーンズランド州環境・観光・科学・イノベーション大臣

アンドリュー・パウエル州議会議員

「クイーンズランド州の科学およびイノベーション・エコシステムは、世界に影響を与えるソリューションを促進しています。私たちは JASHIE を通じて、クイーンズランド州のイノベーターと日本のパートナーとの架け橋となり、連携の強化、商業化、そして長期的な成長を促進させます。」

■ ミズノ株式会社 代表取締役社長 水野明人

「日豪のイノベーション・エコシステム構築に向け、本協定を締結できましたことを大変うれしく思います。ミズノは今年4月

に創業120周年を迎えます。これまでスポーツの振興と社会課題の解決に取り組んでまいりました。

今回の連携により、日本の技術力とクイーンズランド州が育んできた素晴らしいスポーツ文化を融合させ、次世代のスポーツおよびヘルスケア産業をともに創出できると確信しております。

2032年のブリスベン大会、そしてその先の未来に向け、世界の人々の健康と豊かな生活に貢献するイノベーションを、このパートナーシップから生み出していきたいと考えております。」

■ 一般財団法人未来医療推進機構（中之島クロス） 理事長 澤芳樹

「日本とクイーンズランド州の戦略的パートナーシップを深め、スポーツと健康の分野横断的なイノベーションを加速させる重要な機会が、本MOUによってもたらされます。

中之島クロスは未来の医療を推進するグローバル・イノベーション・ハブとして、スタートアップ支援、共同研究、医療・ヘルスケア技術の実用化を通じ、双方のエコシステムをつなぐための重要な役割を果たします。

このパートナーシップが新たな研究機会や産業機会を創出し、世界の健康課題の解決に貢献することを期待しています」

■ JA Network創設者兼CEO クリスティーナ・メリノ・イシツカ

「JASHIEは、スポーツと健康に関するイノベーションを促進するための、オーストラリアと日本の実務的な連携の構築を目的として設立されました。本MOUによって、長期的な成果重視の協力関係の構築という共通のコミットメントが正式に表明されたこととなります。クイーンズランド州の活気あるイノベーション・エコシステムと、日本の高度な技術力や産業ネットワークの融合により、スタートアップ、研究者、企業が国際的に事業を拡大し、活動の場を広げるための新たな道筋が生まれます。クイーンズランド州政府、ミズノ、Nakanoshima Qrossと協力し、2032年のブリスベン大会のレガシー目標を達成するための重要な役割を果たすプログラムを提供できることを誇りに思います。」

〔一般財団法人未来医療推進機構 会社概要〕

名称：一般財団法人未来医療推進機構

所在地：〒530-0005 大阪市北区中之島4丁目3-5 1 Nakanoshima Qross 6 F

代表者：理事長 澤 芳樹

URL：<https://www.nakanoshima-qross.jp/>

設立年月日：2019年11月22日

一般財団法人未来医療推進機構は、再生医療をはじめとする「未来医療」の実用化・産業化およびその提供を通じた国際貢献を推進することを目的に、産官学医の多様なプレイヤーが一つ屋根の下で集い、交流・共創を加速できる拠点「Nakanoshima Qross」の形成・運営を担っています。医療機関や大学・研究機関、企業（スタートアップを含む）、支援機関等が有機的に連携できるよう、拠点全体をオーガナイズし、未来医療の「創造」「実践」「共有」を循環させることで、いのち輝く未来の医療を切り拓くことを目指しています。

詳細は、下記をご参照ください。

<https://www.nakanoshima-qross.jp/>